

## 【大学間協定留学】 留学報告書

|  |   |
|--|---|
| 記入日  | 2024 年 1 月 15 日   |
| 明治大学の所属学部・研究科<br>※学部・学科・研究科・専攻等                        | 政治経済学部地域行政学科  |
| 留学(渡航)した時の学年   | 2 年生  |
| 帰国年月日  | 2024 年 1 月 1 日  |
| 明治大学卒業予定年月   | 2026 年 3 月  |
| <b>留学先大学について</b>                                       |   |
| 留学先国   | アメリカ合衆国   |
| 留学先大学  | サザンイリノイ大学カーボンデール校 (日本語名)<br>Southern Illinois University (現地言語名)  |
| 現地使用言語/ 授業使用言語   | 英語/ 英語  |
| 留学期間   | 2023 年 8 月～ 2023 年 12 月   |
| 留学先大学で在籍した学年   | 2 年生  |
| 留学先の所属学部等  | <input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入)<br>※学部等名<br>日本語名:<br>現地言語での名称:<br><br><input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している<br><input type="checkbox"/> その他: |
| 形態   | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:  |
| 学年暦<br>※記入例:<br>1 学期: 4 月上旬～7 月下旬<br>2 学期: 9 月中旬～2 月上旬 | 1 学期: 8 月中旬～12 月中旬<br>2 学期: 1 月中旬～ 5 月中旬<br>3 学期: ~<br>4 学期: ~  |
| 学生数  | 14,554  |
| 創立年  | 1869 年  |

| 留学費用        |              |             |   |
|-------------|--------------|-------------|---|
| 留学費用項目      | 現地通貨<br>(ドル) | 日本円         | 備考  |
| 授業料         | 0            | 0 円         | 交換留学のため授業料なし                                      |
| 宿舍費         | 2,400        | 360,000 円   | 水道、光熱費込み。月 480ドル                                  |
| 食費          | 400          | 60,000 円    | ほぼ自炊で 1 週間 20ドルくらい                                |
| 図書費         | 87           | 13,050 円    | 2 教科分   |
| 学用品費        |              | 円           |   |
| 携帯・インターネット費 |              | 24,900 円    | ジェスロモバイル  |
| 現地交通費       | 0            | 0 円         | ( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費       |              | 500,000 円   | 旅行など  |
| 被服費         | 200          | 30,000 円    |   |
| 医療費         | 10           | 1,500 円     | 健康診断  |
| 保険費         |              | 221,245 円   | 形態: 明治 50,395 円<br>留学先 1,139ドル                    |
| 渡航旅費        |              | 400,000 円   | 航空券とホテル   |
| ビザ申請費       | 340          | 51,000 円    |   |
| 雑費          |              | 円           |   |
| その他         | 1,440        | 216,000 円   | General student fee                               |
| その他         |              | 円           |   |
| 合計          |              | 1,877,695 円 | 1ドル=150 として計算                                     |

## 渡航関連

| 渡航経路  |
|---|
| <b>往路 出発地:</b> 羽田 <b>目的地:</b> セントルイス <b>経由地:</b> シカゴ<br><b>復路 出発地:</b> セントルイス <b>目的地:</b> 成田 <b>経由地:</b> シカゴ  |
| 渡航費用  |
| ① 往復チケットを購入した場合<br>航空会社: ANA<br><br>料金: 40 万<br><br>② 片道ずつチケットを購入した場合<br>往路 航空会社:            料金:<br><br>復路 航空会社:            料金:                            ∴合計:                                 |
| 航空券購入方法   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: HIS )<br><input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: )<br><input type="checkbox"/> その他( )  |
| 滞在形態関連  |
| 1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎等)  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Ambassador Housing) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ   |
| 2) 部屋の形態  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )  |
| 3) 共有部分   |
| <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可) |
| 4) 住居を探した方法:  |
| 留学先大学がこの寮を指定しました。   |
| 5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)   |
| キッチンは共用ですがとても広いので、いつでも自炊できます。外食すると一回 10~20 \$ かかるのでご飯を作る練習をしておくといいと思います。<br>寮内の治安はとても良く、盗難などのトラブルは聞いたことがありません。大麻を吸っている人が少しいます。  |

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

発砲事件などがあると、留学先大学から外出しないようにとのメールが届き、私が滞在した5ヶ月の間に3回ほどありました。夜暗くなってからは友達と複数人であったとしてもできるだけ出歩かないようにしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮も大学もWi-Fiはよくつながりました。

携帯電話番号を日本から現地のものに変えると、電話番号で認証するサイトなどにログインできなくなり不便でしたが、一方で通販などで日本の携帯電話番号を受け付けていない場合があります。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

三井住友銀行のOliveカードを使用していました。クレジットカードとデビットカードが一体となったカードで、このカードを使って現地のATMで現金を引き出したので現地で銀行口座は開設しませんでした。50万円以上使った月もあったのでデビットカードがあると安心だと思います。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本で普段使っている薬があると安心です。基本的になんでも手に入りますが、全体的に物価が高いので日本から持っていけるものは持っていくといいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

|  |   |
|--|---|
| 1) 留学先で取得した単位数合計   | 本学で認定された単位数合計<br>※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。   |
| 12 単位  | <input type="checkbox"/> 単位<br><input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )  |
| 2) 履修登録の時期・方法及び履修制限  |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後<br><input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( )<br><input type="checkbox"/> 履修の制限があった: |   |
| 3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。   |   |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語)   | 履修した授業科目名(日本語)  |
| Environmental conservation   | 環境保護  |
| 科目設置学部・研究科   | Geography & Environmental Resources   |
| 履修期間   | 秋学期   |
| 単位数  | 3 単位  |
| 本学での単位認定状況   | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |
| 授業形態   | 講義形式 (チュートリアル、講義形式等)  |
| 授業時間数  | 1 週間に 50 分が 3 回   |
| 担当教授   | Julie Weinert   |
| 授業内容   | 人間と自然環境が現在どのように影響しあっているのか、どのように持続的な開発を実現していくのかということについて。  |
| 試験・課題等   | 小レポートが 6 個、期末レポート、テスト 4 回、小テストほぼ毎回  |
| 感想を自由記入  | 100 番代の授業だったので予習をしていけば内容はあまり難しくなかった。テストに向けて覚えなければならぬ単語が多かったが、TOEFL などに役に立つと思う。自分がもし理系に進んでいたら研究したい分野だったので、勉強できてよかった。 |

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語)                | 履修した授業科目名(日本語)   |
| Introduction to American Politics | アメリカ政治入門   |
| 科目設置学部・研究科                        | Political Science  |
| 履修期間                              | 秋学期  |
| 単位数                               | 3 単位   |
| 本学での単位認定状況                        | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |
| 授業形態                              | 講義形式 (チュートリアル、講義形式等)   |
| 授業時間数                             | 1 週間に 75 分が 2 回  |
| 担当教授                              | J. Tobin Grant   |
| 授業内容                              | アメリカの政治システムについて。具体的には州と中央政府の権限や選挙制度、銃規制など。   |
| 試験・課題等                            | 小テスト毎回、レポート 6 個、中間テスト 3 回、期末テスト 1 回  |
| 感想を自由記入                           | テストが全てオンラインで、ノートや授業スライドを見ながら解くことができた。明治での授業である程度日本の政治システムについて理解していたので、日本とアメリカを比較しながら授業を受けることができた。また、先生がとても優しい方だった。 |

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語)                 | 履修した授業科目名(日本語)  |
| Introduction to Gender and Society | ジェンダーと社会入門  |
| 科目設置学部・研究科                         | Women, Gender, and Sexuality Studies  |
| 履修期間                               | 秋学期   |
| 単位数                                | 3 単位  |
| 本学での単位認定状況                         | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |
| 授業形態                               | 講義形式 (チュートリアル、講義形式等)  |
| 授業時間数                              | 1 週間に 75 分が 2 回   |
| 担当教授                               | Anthony Cusumano  |
| 授業内容                               | アメリカにおけるジェンダー・セクシュアリティについてを、人種・社会的地位・大衆の固定観念などから考えた。  |
| 試験・課題等                             | リアペ 10 個、小テスト 10 個、レポート 4 個   |
| 感想を自由記入                            | 明治でもジェンダーに関する授業を履修していたが、留学先では人種という観点が新たに追加されて新鮮だった。留学先で出会った人で、セクシャルマイノリティであることをオープンにしている人が数人いたことに日本との差を感じた。 |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語)             | 履修した授業科目名(日本語)  |
| Intro to International Studies | インターナショナルスタディーズ入門   |
| 科目設置学部・研究科                     | International studies   |
| 履修期間                           | 秋学期   |
| 単位数                            | 3 単位  |
| 本学での単位認定状況                     | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |
| 授業形態                           | 講義形式 (チュートリアル、講義形式等)  |
| 授業時間数                          | 1 週間に 75 分が 2 回   |
| 担当教授                           | Emi Kanemoto  |
| 授業内容                           | 自分と異なる文化的背景をもつ人々と関わっていく上でどのようなことに配慮する必要があるのかということについて。                      |
| 試験・課題等                         | 小テスト 7 回、中間テスト、期末テスト、個人プレゼン 2 回、グループプレゼン 1 回                                |
| 感想を自由記入                        | 300 番台の授業で内容は少し難しかったが、先生が日本人の方だったので質問などがしやすかった。グループプレゼンテーションの同じ班の人たちが優しかった。 |

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

|          |         |                         |
|----------|---------|-------------------------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月   |                         |
|          | 4月～7月   | 明治大学入学、情報収集             |
|          | 8月～9月   | 語学試験の勉強、出願希望先の選択        |
|          | 10月～12月 | 語学試験、選考書類の準備、面接、選考結果の発表 |
| 留学開始年    | 1月～3月   | 留学先へ書類の提出、パスポート取得       |
|          | 4月～7月   | ビザ取得、航空券購入、予防接種         |
|          | 8月～9月   | 渡航、秋学期開始                |
|          | 10月～12月 | 期末テスト、帰国                |
| 留学/帰国年   | 1月～3月   | 留学報告書・奨学金などのレポート提出      |
|          | 4月～7月   |                         |
|          | 8月～9月   |                         |
|          | 10月～12月 |                         |



## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

アメリカの中でも治安が良さそうだったのでこの大学を選びました。強盗や発砲といった事件が過去に起きたという話は聞きましたが、滞在中に犯罪に巻き込まれることは無かったです。寮の中には特に治安が良く、共有スペースにパソコンが置き去りにになっていることが日常茶飯事でしたし、部屋の鍵を掛けずに生活している人もいるくらいでした。大学周辺は田舎なので東京に比べたら娯楽は少ないですが、授業がある時期は勉強で手一杯だったので私はあまり辛くはなかったです。留学先では Japanese Table という日本語教育のサークルに入っていました。サークルの運営をしている方が日本人や日本語を勉強している大学院生だったので、英語に自信がなくても活動に参加しやすかったです。

留学前にやってよかったことは、歯の治療、自炊の練習、第二外国語の勉強、ゼミの下調べです。歯の治療については、自分で気づかないうちに虫歯になってしまっていることもあるので、自覚症状がなくても留学前に一度検診を受けることをお勧めします。私の場合、生えていた親知らずを全て抜いてから渡航しました。特にアメリカはスイーツがとんでもなく甘いので、渡航してからも歯のケアには気を遣っておくと思います。

自炊については、滞在先にキッチンがある場合は日本にいるうちから練習しておくと思います。私の滞在先では本格的な日本食を食べられる場所が無かったのですが、自分で好きなものを作って食べていたので日本食が恋しくなることはあまりなかったです。食材によっては入手しづらい場合もありますが、自分が食べ慣れているものが食べられるというのは精神的にも安心感がありました。

第二外国語については、渡航前に勉強しておくとお話が弾むきっかけになります。留学生向けの寮に滞在していたのでさまざまな国の学生さんと話す機会があったのですが、その際にお互いの言語の話になることがよくありました。私は必修科目なので中国語を1年半くらい(7単位分)勉強していて、簡単な単語や文が理解できる程度ですが、中国や台湾の学生さんとの会話のきっかけになったと思っています。私の滞在先では中国語とスペイン語圏出身の方が多かったのも余裕があれば勉強してみてください。

ゼミに関して、留学中にゼミの選考がある方は、渡航前にある程度どのゼミに入るかを決めておくと思います。留学先ではゼミの個別ガイダンスに参加できない場合もあるので、前年のゼミの募集資料を読んだり、ゼミを持っている先生の授業を履修したりして、ゼミの目星をつけておくことをお勧めします。留学中の学生に対してゼミ入室試験や入室許可をしないというゼミもありますが、それは先生のさじ加減で決まることだと思うので、もしどうしても入りたいゼミがあれば交渉してどうにかなる場合もあると思います。また前年にゼミ生の募集があっても今年の募集もあるとは限らないので、機会があれば先生に直接聞いておくと思います。

留学前にやっておけばよかったと後悔していることは、英語の勉強です。留学前の2年春学期に、英語の授業2コマと英語で政治経済について学ぶ授業を2コマ履修していたのですが、全く足りていなかったです。1学期間の留学を経て、私は自分の英語力に満足できていないのでこれからも特に英語のスピーキングを練習していくつもりです。リーディングやライティングに比べ、リスニングとスピーキングは瞬発力が必要になるので、留学前にこの二つの技能を特に鍛えておくことをお勧めします。留学先では勉強以外にたくさん楽しいことがあるので、それらをめいっぱい楽しむためにも渡航前にできるだけ英語力を伸ばしておくと思います。